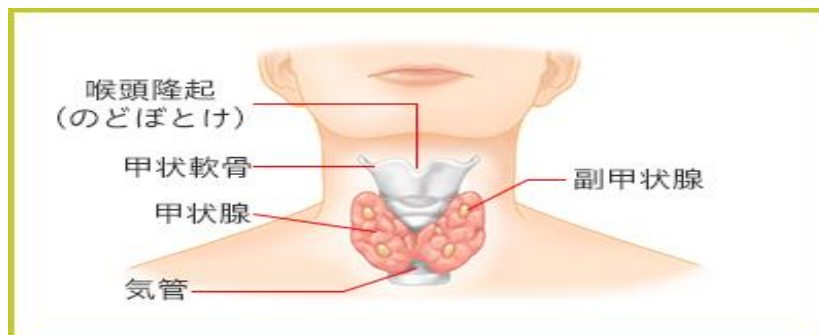


## しもの診療所だより 9月号

今月は、甲状腺ホルモンのお話です。甲状腺ホルモンは、のどぼとけの下で気管の前にある甲状腺という内分泌器官からヨウ素を材料に作られています。甲状腺ホルモンは、代謝を高める作用があるため過剰な分泌である甲状腺機能亢進症では動悸、体重減少、発汗、手のふるえなどの症状があり、逆に分泌が少ない甲状腺機能低下症では元気がなくなり傾眠、浮腫、便秘などの症状が出現します。症状が軽いうちは発見されにくいですが、眼球が突出して来たり、首の前が腫れてくるといった症状がある場合は、甲状腺疾患の可能性があり検査したほうが良いと思います。甲状腺機能亢進症では、バセドウ病が有名で女性の約100人に1人の頻度で見られるため、決してめずらしい病気ではありません。また、甲状腺機能亢進症、低下症ともに様々な要因で発症するため治療が必要な場合は専門医を受診することをお勧めします。



しもの診療所 院長 川井 祐輔